整理番号 2021M-033

補助事業名 2021年度 世界貿易におけるポスト中国としてのメコン地域経済発展の

可能性調査研究 補助事業

補助事業者名 一般財団法人国際貿易投資研究所

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

米中デカップリング(経済分断)が進む中で、ポスト中国生産を代替する有力拠点地ASEAN、中でもメコン地域(タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス)が注目されていた。コロナ禍により中国生産に過度に依存するリスクが再認識され、安心できる、信頼性の高いサプライチェーンの構築が喫緊の課題となっていた。

メコン地域の工業化の現状は、ベトナムが突出している以外は、カンボジアで衣類や電子部品の輸出が活発化している程度、ベトナムを追い上げる工業的能力はまだみられない。CLM諸国では製造業投資が少なく、現時点では最終製品の大規模輸出のための工場はまだみられない。よって、当面は、ベトナムの工業化の深化・高度化を図り生産性を向上させて、ベトナムをメコン地域の核に育成し、ベトナム+1を通じてメコンの工業化の底上げを図ることがメコン地域経済発展の現下のシナリオとなる。

(2) 実施内容

① 世界貿易におけるポスト中国としてのメコンの地域経済発展の可能性に係る調査研究 補助事業

当研究所内に「メコン研究会」を設置して、米国の対中追加関税措置が中国・ASEAN間貿易に与える影響、タイ企業のメコン投資、ベトナムの対欧州輸出、ベトナムと中国の経済関係、ベトナムの工業化の課題について議論をし、報告書として取りまとめた。

②研究会開催

【メコン研究会】(座長:高橋与志 広島大学大学院人間社会科学研究科准教授、ITI客員研究員)

第1回委員会開催 7月29日

第2回委員会開催 9月29日

第3回委員会開催 11月12日

第4回委員会開催 12月 8日

第5回委員会開催 12月28日

2022年 3月31日 報告書をITIのHPに掲載

(https://iti.or.jp/report_129.pdf)



第2回研究会の模様

	テーマ/報告者	開催日
第1回	「直接投資統計からみた ASEAN 域内投資」	7月29日
	増田耕太郎(ITI 客員研究員)	
第2回	「米国・中国・ASEAN の貿易~米国の対中追加関税措置と IT・労働集	9月29日
	約財貿易への影響~」	
	大木博巳(ITI 研究主幹)	
第3回	(1)「中国ミャンマー経済回廊 (CMEC): Aung Kyaw 氏の 2020 年度報告	11月12日
	に 2019 年 3 月視察を重ねて」	
	藤村 学(青山学院大学経済学部教授、ITI 客員研究員)	
	(2)「ミャンマー最新事情、現地報告」	
	山岡寛和 (JETRO ヤンゴン事務所海外投資アドバイザー、DICA (ミ	
	ャンマー投資企業管理局)ジャパンデスク・アドバイザー)	
第4回	「タイ企業の対外直接投資動向について」	12月8日
	牛山隆一(公益社団法人日本経済研究センター主任研究員)	
第5回	(1) 「The overview of Thai economy」	12月28日
	Jirada Prasartpornsirichoke (Chulalongkorn University)	
	(2) Γ Growing Chinese FDI in Vietnam manufacturing sector and the	
	Vietnamese government's international trading strategy	
	towards US and China」	
	Pham Thi Ngan (Ton Duc Thang University)	

成果報告として、ITI 連続セミナー「チャイナ+1 としてのメコン」を YouTube「世界 Econo.Biz セレクト」チャンネルにて発表した。ITI コラム、フラッシュに寄稿した。

2 予想される事業実施効果

ASEANの成長地域メコンの課題は、その中心であるベトナムの工業化の深化・高度化にある。単純労働集約的産業(加工・組立製品)を中心に経済発展を遂げたベトナムが、工業化の高度化を遂げることで、ベトナムを追い上げているカンボジア、ラオス、ミャンマーの経済成長を底上げして、メコン地域の経済発展に加速化させる可能性がある。

メコン地域における中国系企業の存在感が増す一方で、その影響力が大きくなりすぎることの警戒感から日本などに対する期待は底堅い。日系企業が現地に貢献していく余地は十分残されているといえる。

3 補助事業に係る成果物

(1)補助事業により作成したもの

「チャイナ+1としてのメコン」

(https://iti.or.jp/report_129.pdf)





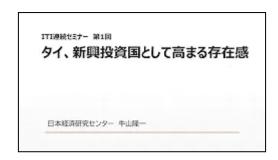


(2) ITI連続セミナー

ITI (国際貿易投資研究所) 連続セミナー「チャイナ+1としてのメコン」(動画配信) (https://iti.or.jp/flash/507)



第1回 「タイ,新興投資国として高まる存在感」 牛山隆一 日本経済研究センター主任研究員



(https://www.youtube.com/watch?v=RmPI43pMqTM&t=96s)

第2回 「メコン地域における一帯一路の現状と展望: CLMを中心に」 藤村 学 青山学院大学教授



(https://www.youtube.com/watch?v=40d0Cg-7kXA)

③ITIコラム寄稿

「The prospects of the Mekong region as a China-plus-one」2022年2月14日 Jirada Prasartpornsirichoke

(https://iti.or.jp/column/91)

④ITIフラッシュ寄稿

「対中輸入依存リスクを軽減する米国~対中追加関税措置がもたらした米国の輸入構造変化~」2022年3月24日

大木博巳 (一財) 国際貿易投資研究所 研究主幹

(https://iti.or.jp/flash/508)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名: 一般財団法人国際貿易投資研究所 (コクサイボウエキトウシケンキュウショ)

住 所: 〒107-0045 東京都中央区築地1丁目4番5号

代表者: 理事長 日下 一正 (クサカカズマサ)

担当部署: 総務部 (ソウムブ)

担当者名: 事務局長 小野充人 (オノミツヒト)

電話番号: 03-5148-2601 F A X: 03-5148-2677

E-mail: webmaster@iti.or.jp
U R L: https://iti.or.jp/